おもて

令和8年度　町道民税申告書

受付印欄

和〇年〇月〇日　芽室町長　様		個人番号	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
現住所	芽室町東〇条〇丁目〇番地	業種又は職業	無職
1月1日現在の住所	河西郡芽室町　同上	電話番号	090－××××－××××
フリガナ	メムロ　タロウ	生年月日	世帯主の氏名	続柄
氏名	芽室　太郎	明・大・昭・平・令　40年4月1日	芽室　太郎	本人

3　所得から差引かれる金額に関する事項

社会保険の種類	支払った保険料
	円
	円
	円
	円
	円
	計 円
	計 円
	控除 級度
	級度

手順1

個人番号

マイナンバーカード（通知カード）等を基に個人番号を記入してください。

現住所

申告日現在の住所を記入してください。

1月1日現在の住所

現住所と同じ場合は「同上」で省略可能です。

氏名

フリガナを必ず記入し、氏名の横に押印してください。

電話番号

ご自宅の電話番号または携帯電話番号を記入してください。

㉑～㉒ 配偶者控除・配偶者特別控除・同一生計配偶者	配偶者の氏名	生年月日 明・大・昭・平・令 ・ ・		
		配偶者の合計所得金額	円	
	個人番号			

	氏名	生年月日	同居・別居の区分	続柄	特親	控除額
㉓～㉔ 特定親族		明・大・昭・平・令 ・ ・	□同居 □別居			万円
	個人番号					
		明・大・昭・平・令 ・ ・	□同居 □別居			万円
						万円
						万円

未満の親族（対象外）	個人番号			
		平・令 ・ ・	□同居 □別居	続柄
	個人番号			

別居の扶養親族等がいる場合には、裏面「13」に氏名、個人番号、住所及び国外居住者である場合は区分

扶養控除　万円

手順2

所得金額

給与収入等の課税収入が無かった場合は、合計欄に「0」と記入してください。

1 収入金額等	事業	営業等	ア	
		農業	イ	
	不動産		ウ	
	利子		エ	
	配当		オ	
	給与		カ	
	雑	公的年金等	キ	
		業務	ク	
		その他	ケ	
	総合譲渡	短期	コ	
		長期	サ	
	一時		シ	
2 所得金額	事業	営業等	①	
		農業	②	
	不動産		③	
	利子		④	
	配当		⑤	
	給与		⑥	
	雑	公的年金等	⑦	
		業務	⑧	
		その他	⑨	
		合計（⑦＋⑧＋⑨）	⑩	
	総合譲渡・一時		⑪	
	合計		⑫	0
4 所得	社会保険料控除		⑬	
	小規模企業共済等掛金控除		⑭	
	生命保険料控除		⑮	
	地震保険料控除		⑯	
	寡婦、ひとり親控除		⑰～⑱	

手順3は裏面をご覧ください。

医療費控除	円	円

5　給与所得及び公的年金等に係る所得以外（令和8年4月1日において65歳未満の方は給与

基礎控除	㉕	
⑬から㉕までの計	㉖	

うら

6 給与収入の内訳

勤務先名	勤務先所在地	電話番号	期間	収入金
			月～ 月	円
			月～ 月	円

7 事業・不動産所得に関する事項

所得の種類	所得の生ずる場所	収入金額	必要経費	青色申告特別控除額
		円	円	円

手順3

該当番号を〇で囲み、該当欄に記入してください。

★記入内容について

1. 次の者に扶養されていた。

　扶養されていた親族の住所（令和8年1月1日時点）、氏名、あなたから見た続柄を記入してください。

2. 単身赴任の配偶者に扶養されていた。

　扶養されていた配偶者の赴任先の住所（令和8年1月1日時点）、氏名、会社名を記入してください。

4. 生活保護法の生活補助を受けていた。

　保護受給開始年月日及び終了年月日を記入してください。（受給中の場合は、終了年月日を空欄としてください。）

6. 非課税の所得のみであった。

　該当するものを〇で囲み（当てはまるものが無い場合はその他欄に記入し）、昨年中の年間受給額を記入してください。

7. 令和8年1月1日に他の市区町村に居住し、その市区町村で住民税が課税されている。

　課税されている市区町村名と、1月1日現在で生活されていた当該市区町村での住所を記入してください。

配当割額控除額	円
株式等譲渡所得割額控除額	円

府県、市区町村分（特例控除対象以外）		
条例指定分	都道府県	
	市区町村	

には、当該団体へ寄附した金額を記入してください。
「条例指定分」の「都道府県」、「市区町村」の各欄には、住所地の都道府県、市区町村の条例で指定された寄附金を支出した場合にそれぞれ記入してください。

16 所得金額調整控除に関す

氏名		続柄		生年月日	明・大・昭 平・令 ・ ・	特別障害者に該当する場合	級 度	別居の場合の住所	
個人番号									

◎ **令和7年中に収入のなかった人や非課税所得のみの人は、生活状況の該当番号を〇で囲み、該当欄に記入してください。**

1 次の者に扶養されていた。

住所＿＿＿＿＿＿＿＿ 氏名＿＿＿＿＿＿＿＿ 続柄＿＿＿＿＿＿＿＿

2 単身赴任の配偶者に扶養されていた。

赴任先の住所＿＿＿＿＿＿＿＿ 氏名＿＿＿＿＿＿＿＿ 会社名＿＿＿＿＿＿＿＿

3 学生や生徒であった。（卒業予定　令和　年　月）　学校名＿＿＿＿＿＿＿＿ 学年＿＿＿＿＿＿＿＿

4 生活保護法の生活扶助を受けていた。（　年　月　日～　年　月　日）

5 預貯金の蓄えにより生活していた。

6 非課税の所得のみであった。（該当するものを〇で囲んでください）

・遺族年金　・障害者年金　・福祉年金　・雇用保険　・寡婦年金　・その他（　　）　年間受給額　96万　円

7 令和8年1月1日に他の市区町村に居住し、その市区町村で住民税が課税されている。

市区町村名＿＿＿＿＿＿＿＿ 市・区・町・村　その市区町村での住所＿＿＿＿＿＿＿＿

8 その他（1～7に該当しない方は、下欄に令和7年中の生活状況を記入してください。）